

# 第2回道の駅よこはまエリア事業推進協議会 を開催しました

第2回道の駅よこはまエリア事業推進協議会を、平成28年12月22日（木）に横浜町「洗心閣」にて開催しました。

協議会では、事務局より、これまで開催したワーキンググループ会議（※）の報告や、9月に道の駅で受け入れたインターンシップの活動報告、実験的に運行した道の駅までの送迎バスの取り組みなどについて説明し、意見交換を行いました。

※「道の駅よこはまエリア地方創生拠点基本計画」に掲げるソフト施策の実現に向け、具体的なアイデアを検討するワーキンググループ



事業推進協議会の様子

## ①ワーキンググループ会議の報告

ワーキンググループで、これまで3回開催した会議内容が協議会で報告されました。

会議では、道の駅までの「送迎サービス」や農産物を道の駅にある直売所まで運搬する「集荷サービス」、道の駅に販売されている商品を住宅まで届ける「宅配サービス」をどのように実施していくのか議論されました。また、上北地域県民局農業普及振興室の職員から、売れ筋の野菜などの情報を提供してもらい、直売所を充実させるための議論もしました。



議論の様子

## ②インターンシップの活動報告



インターンシップの様子

平成28年9月12日～21日までの10日間、弘前大学生2名が道の駅よこはまにインターンシップ（就労体験）で訪れました。インターン最終日には、道の駅で働きながら感じた課題とそれに対する解決策について、学生から発表され、その内容が協議会で報告されました。

- 菜の花以外の特産物が観光客に伝わっていないことに対しては、商品の説明を出来るコンシェルジュを配置する
- 道の駅スタッフと道の駅への出荷者のコミュニケーション不足に対しては、道の駅関係者が読み書きできる交換日記を作る
- 商品がわかりやすく表示されていないことに対しては、特産品を色で分けてイメージを沸きやすくする

このほか、道の駅の生鮮品売上の分析を行い、ジャガイモやナガイモなどがよく売れていることが発表されました。

## ③特産品販売の実地研修の報告

道の駅の活性化に向けて、商品の販売力の向上を図るため、なたねの会が神奈川県逗子市の「(株)スズキヤ逗子駅前店」などで行った実地研修の内容が協議会で報告されました。

「スズキヤ」は、創業110年の地域に根ざした商売をしている老舗スーパーマーケットです。店長の商品のアピールが上手く、菜の花ドーナツを紹介するときには、どこから来たのか（青森の横浜と神奈川の横浜をかけた）、何がうりなのか（菜の花の一番搾りを使ったドーナツで、胃にもたれない）をアピールしたら飛ぶように売れました。



スズキヤでの実地研修の様子

（裏面には、引き続き「協議会の内容」と「第2回協議会での委員意見」を掲載しています）

## ④道の駅よこはまへの送迎バス運行の報告

ふれあいセンターまで送迎する「温泉バス」が、10月から12月まで、運行ルートを道の駅まで延伸する試験運行が実施されました。本格運行のために利用者におこなったアンケート結果が協議会で報告されました。

送迎バスを利用して道の駅で買い物した利用者からは、「見て買えるのがよい」「野菜が新鮮でいい」「はじめて来たがなにが売ってるのかわかった。次回も来たい」と良好な意見がありましたが、「カートが無くて買い物が大変」「買った物を持って帰るのが大変」などという改善すべき指摘もありました。



## ⑤道の駅よこはま応援隊「ぐるっと隊」の活動報告



横浜町内をぐるっと回って高齢者宅への配食や野菜の集荷、移動販売などを行う「ぐるっと隊」が12月1日に発足し、その活動状況が協議会で報告されました。

隊のメンバー6名は、道の駅の送迎バスに乘車し、送迎バスのPRやニーズ調査をおこなったり、よこはま温泉や町役場でパンやおにぎり、おかずなど道の駅の商品を販売をしました。移動販売の際には、これから実施する予定の配食の需要調査も行いました。

## ⑥除雪ステーション、駐車場拡張などのハード整備の取組状況の報告

道の駅よこはまエリアで実施される予定の駐車場拡張や休憩所・トイレの追加設置、非常用電源、除雪ステーションの整備といったハード整備の取り組み状況が青森県道路課から協議会で報告されました。

今年度は、町在住の住民を対象に、整備内容を説明する「住民説明会」を6月に、用地関係者を対象に整備内容や用地補償の流れを説明する「事業説明会」を7月に開催しました。

来年度は、測量や設計のほか、用地補償を進めていく予定です。



## 第2回事業推進協議会における委員の皆様からの主な意見

### ■全般について

- ・ワーキングに道の駅からも駅長が忙しければ、スタッフの方が代理出席してもらいたい。皆で議論して大きなうねりにつなげていきたい。
- ・道の駅への立寄率のデータをとっておけば、供用後と比較して検証できる。
- ・丁寧に町民の意見を汲み上げて、皆が住みやすい町にしていく必要がある。

### ■インターンシップ報告について

- ・売上額の公表は生産者のやる気につながる。
- ・提案のあった課題に対して、スタッフおよび関係団体と情報共有できる一言カードを導入した。また1月～3月には定休日があるのでそれを活用して接客・マナー研修を行う予定

### ■道の駅への送迎バス運行の報告について

- ・道の駅だけ盛り上がると街中の商店が廃れてしまう。町全体が潤うような対策をとらないといけない。

＼ホームページで情報をご覧ください／

道の駅よこはま 基本計画 検索



平成28年3月に策定した基本計画の内容を掲載しています。

○お問い合わせ先○

「道の駅よこはまエリア事業推進協議会」事務局

● 横浜町 産業振興課

電話 0175-78-2111